

第7回勉強会 課題

EP20052 小出清楓

1. ネットワークの構造を変更し、認識精度の変化を確認する

- 中間層のユニット数や、層数、活性化関数などを変更

中間層のユニット数を 1500, 全結合層を 1 層追加, 活性化関数を LeakyReLU に変更

テスト結果: test accuracy: 0.6908

2. 学習の設定を変更し、認識精度の変化を確認

- バッチサイズ, 学習回数, 学習率, 最適化手法などを変更

バッチサイズを 100, 学習回数を 50, 学習率を 0.008, 最適化手法を Adam に変更

テスト結果: test accuracy: 0.717

3. 認識精度が向上するように 1,2 を変更

- 色々やってみてより高い認識精度を目指す

test accuracy: 0.7047

学習回数, 学習率をもっと多くすればこと細かく学習し認識率は上がりそうだが, エポック 30 の時点で 308 秒(約五分)のため, 比例関係として考えても 100 エポックで 1027 秒必要になる. 10 エポックと 30 エポックで認識率は 2%ほどしか変わっていないため, その他で認識率があがるように変更する必要がある可能性が高い.